

## 資料 4

## 地方創生推進交付金活用事業

## (1) ご当地アニメーションを活用した移住定住促進プロジェクト

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成26年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
20歳～24歳の転出超過人口	年度目標値	146人	126人	100人	70人
	実績値		55人	158人	
1	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>転出超過の多い若年層に対し訴求効果の高いアニメに着目し、本市のPRを行うため、ご当地アニメ「サクラノチカイ」を制作し、そのコンテンツを活用した様々な取組を実施している。</p> <p>総務省住民基本台帳人口移動報告によれば、平成27年は134人、平成28年は112人、平成29年は55人と、転出超過ではあるが少しずつ超過数が減少していた状態だったが、平成30年は158人と増加してしまった。</p> <p>本当の効果が現れるためには息の長い取組が必要であり、今後とも若年層に響く取組になるよう工夫を重ね継続的に実施する。</p>			
	担当課	総合政策課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度
関連グッズ等の売上げ	年度目標値	40千円	1,340千円	3,340千円	6,300千円
	実績値		2,050千円	3,006千円	
2	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>市観光協会と連携し様々な関連グッズを開発するとともに、販売促進に向けた東京圏をはじめとする各種イベント等に出展し、PRも兼ねた販売を戦略的に実施している。</p> <p>今後は、この経済効果が市内店舗等にも波及するよう、協力店舗の拡大を図るなど、さらなる動きにつなげていきたい。</p>			
	担当課	総合政策課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度
聖地巡礼スタンプラリー参加者数	年度目標値	—	3,000人	6,000人	9,000人
	実績値		500人	2,060人	
3	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>ご当地アニメ「サクラノチカイ」に登場するスポットを巡る聖地巡礼スタンプラリーを実施することで、アニメを通して本市を知り、訪れたファンを実際に市内各所に誘導する取組である。通常のスタンプラリーに加え、3月には天平の花まつり開催にあわせ、謎を解きながらスポットを巡る宝探しイベントを開催し、多くの方に参加いただいた。</p> <p>スタンプラリーは何回も巡る人は少ないことから、コースを変えたり協力店舗を増やすなどの工夫を凝らして、飽きさせない仕掛けづくりをしていかなければならない。</p>			
	担当課	総合政策課			
重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成29年度	平成30年度	目標値 平成31年度
休日の滞在人口率 (NTTドコモによる2h以上の滞在者÷国調人口 休日の14時で比較)	年度目標値	93%	98%	103%	108%
	実績値		93%	93%	
4	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	<p>本市はベッドタウンの性格が強く、観光などで本市を訪れる人よりもお出かけで市外に出ていく人が多い。また、道の駅しもつけには年間220万人前後の人が立ち寄るが、そこから市内に周遊する方は少ないため、2時間以上の滞在につなげていない現状が読み取れる。</p> <p>アニメをひとつの切り口に、市内の様々なスポットを循環できる仕組みづくりができれば、滞在時間を増やし滞在人口を上げることができる。</p> <p>観光自転車にキャラクターをデザインした痛チャリの導入や、アニメ声優と巡る聖地巡礼ツアーなどを実施し、周遊を誘引する仕掛けづくりを行っている。</p>			
	担当課	総合政策課			

## 地方創生拠点整備交付金

### (1) 「夜明け前」リノベーション事業

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値 平成32年度
1	夜明け前利用者数	7,000人	—	—	12,000人	18,000人	22,800人
	年度目標値		—	—	30,841人		
これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組 担当課 商工観光課		平成28年度に交付決定、平成29年度末の工事完了を経て、平成30年4月9日に「10picnic tables」として古民家カフェの営業を開始した。天平の花まつり期間中（4月）の5,165人の来場者はもとより、今まで人が訪れなかった季節にも賑わいを創出している。今後も定期的なイベント開催を通して、引き続き歴史や自然を生かした公園のPR・集客に努めていく。					
古民家カフェの売上げ 担当課 商工観光課		0円	—	—	950千円	2,375千円	4,085千円
これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組 担当課 商工観光課			—	—	18,189千円		
これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組 担当課 文化財課		18,671人	19,500人	20,800人	23,130人	25,630人	28,430人
しもつけ風土記の丘資料館 入館者数 担当課 文化財課			20,592人	21,121人	21,927人		
これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組 担当課 文化財課		国分寺周辺史跡のガイダンス施設である同資料館は、微増ではあるが年々来場者を増やしている。引き続き相互に連携しつつ、東の飛鳥プロジェクトの推進や古民家カフェ周辺でのイベントを通して公園全体の活性化を図っていく。					

(2) グリムの館 施設整備事業

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値 平成32年度
1	グリムの森・グリムの館の 来園者の増加数	114,281人	300人	300人	600人	700人	800人
	年度目標値		9,463人	14,375人	19,404人		
これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組  (一財)グリムの里いしばしと多くの市民団体が協働し、「グリムの森イルミネーション」をはじめ様々な市民文化活動が活発に行われている。さらに民間愛好家によるコスプレイベントが多数開催され、県内有数の人気スポットとなっている。このことから、控室を増設し利用者の利便性向上を図ったところである。 また、増加する利用者を収益性の向上につなげるため、お菓子の家を増築した。加えて、マニアに人気の高いマンホールカードの配布を開始するなど、来園者の増加に努めた。 今後は、イベント等の拠点となる施設ができたことで、さらなる魅力向上と子どもやファミリー層にも親しみやすい仕掛けづくりに取り組み、一層の集客力の向上を図っていく。		担当課	生涯学習文化課				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値 平成32年度
2	グリムの館多目的ホール 稼働率	83%	84%	85%	86%	87%	88%
	年度目標値		83%	83%	85%		
これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組  年度目標値には届かなかったものの85%と前年度より増加し、同敷地内にあるグリムの森・グリムの館とお菓子の家の相乗効果が少しずつ現れてきたものと思われる。利用者の利便性向上とイベント等の拠点となる施設ができたことで、ホールの稼働率の向上が見込まれるため、今後とも相互に連携しながら、子どもやファミリー層にも親しみやすい仕掛けづくりを行っていく。		担当課	生涯学習文化課				
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値 平成32年度
3	お菓子の家の売上高 (改築前は売店の売上げ)	592千円	622千円	722千円	4,722千円	5,000千円	5,500千円
	年度目標値		574千円	701千円	6,518千円		
これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組  平成28年度に交付決定を受け、平成29年度末に工事完了した。平成30年4月に「おかしのいえ」としてオープンし営業を開始したところである。市民の文化交流の拠点であり、県内有数のコスプレの聖地でもあるグリムの森のポテンシャルを活用しながら、新たな魅力を生み出すとともに、新メニューの開発などを行い売り上げにつなげていく。		担当課	生涯学習文化課				

(3) 下野薬師寺歴史館 増改築事業

重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値 平成32年度
1	下野薬師寺歴史館及びしもつけ風土記の丘資料館の入館者数	21,000人	21,050人	21,250人	21,550人	21,850人	22,250人
	実績値		27,483人	29,773人	30,585人		
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	現在、本市には国指定の史跡である下野薬師寺跡に関する展示を行う下野薬師寺歴史館と栃木県南部に広がる遺跡に関する資料を展示するしもつけ風土記の丘資料館がある。今後は展示のリニューアル等を行い、2館が連携して市内の歴史文化を総合的に発信する施設となるように整備し、市内の周遊促進につなげたい。					
	担当課	文化財課					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値 平成32年度
2	下野薬師寺ボランティア会員数 (平成29年度より薬師寺及び風土記の丘資料館ボランティア会員数)	40人	44人	46人	48人	50人	52人
	実績値		53人	77人	75人		
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	平成29年度から、下野薬師寺跡の見学者に対する解説等を行う薬師寺ボランティアに加え、市内全域の文化財を解説するためのガイドを養成するために「文化財観覧ガイドボランティア」養成講座を開催している。ボランティア活動の活性化は、官民協働による持続性のある取組に直結するものであり、本年度も講座の開催や登録ボランティアの支援を行い、会員数の増加に努めていく。					
	担当課	文化財課					
重要業績評価指標 (KPI)		基準値 平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	目標値 平成32年度
3	市バーチャルミュージアム閲覧数	9,300件	10,000件	11,700件	14,400件	16,600件	18,100件
	実績値		13,853件	14,235件	14,129件		
	これまでの取組と実績値の分析及び今後の取組	現在、文化財等の発信・公開の手法の一つとしてデジタルコンテンツを用いた情報発信を推進している。本市が進める歴史資源のAR化に関してアンテナの高い層は、パソコン等の情報機器から情報を得ることが多いと考えられる。本市の文化財等をデジタルアーカイブ化し、インターネットで公開しているバーチャルミュージアムをより一層充実させ、本市を訪れてもらう入り口として魅力向上を図っていく。					
	担当課	文化財課					